

「ゼンショー 東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校日本研究拠点プログラム 日越大学 支援金受給生」二次募集要項

「ゼンショー 東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校日本研究拠点プログラム」（以下ゼンショープログラム）は、株式会社ゼンショーホールディングスからのご寄付に基づき、ベトナムにおける若手日本研究者の養成を促進するため、東京大学大学院総合文化研究科（以下総合文化研究科）とベトナム国家大学ハノイ校附属人文社会科学大学（以下人文社会科学大学）及び同附属日越大学（以下日越大学）との間で、2011年に設けられた支援プログラムです。

ゼンショープログラムでは、日越大学大学院日本研究修士課程の学生のみなさんのうち、世界の第一線に立つ日本研究者をめざしている方を「支援金受給生」に採用し、2年間の支援金を支給しており、今回二次募集を行います。採用の条件と支援の内容、義務は下記のとおりです。

採用条件： 日本研究にかかわり、人文社会科学の方法論（ただし日本語教育を除く）に基づく具体的で明確な研究テーマをもっていること。特に、日本研究の世界的な動向からみて妥当な研究テーマであること。

採用者数：若干名（最大で2名）

採用期間：2018年12月から2020年8月までの21か月。ただし正当な理由により休学した場合には、一時的な停止と再開を認める。

支援の内容：

- ①支援金として、月額6万円を1年9か月間（総計126万円）支給する。
- ②第3学期（2019年9月から2020年1月）の「インターンシップ」期間中に、総合文化研究科の特別聴講学生として受け入れ、奨学金（月額15万円相当、ただし上記の支援金はこの15万円に含まれるものとする）と1往復航空券を支給する。
- ③ゼンショープログラム担当教員が指導教員になり、修士論文の執筆を指導する。

（支援の内容は①②③を一体のものとするので、その一部を辞退する場合は、以後の支援を打ち切る場合がある）

支援金受給生の義務：

- ①研究に専念すること。アルバイトは研究に関連するもののみ、1週間5時間以下に限って認める。
- ②毎月1回研究状況報告書（日本語）を提出すること。

支援金の受給を希望する方は、下記の要領によって応募してください。

提出書類：研究計画書（日本語で6400字程度、または英語で3200 words 程度。研究テーマについて、これまでに発表された先行研究を明示し、自分の独自の観点を提示し、最後に必ず参考文献目録をつけること。支援金受給生に採用された場合には、これを第1回12月分の研究状況報告書とみなします）

提出期限：2018年12月3日午前0時（=ベトナム時間の2018年12月2日深夜0時。遅れた場合は一切受け付けない）

提出宛先：ゼンショープログラムハノイオフィス 神田真紀子先生（kanda@jsph.c.u-tokyo.ac.jp）あて、電子メールで提出すること。日越大学地域研究プログラムの伊藤まり子先生（ito_marimari@yahoo.co.jp）と Phạm Thị Thu Giang 先生（ptthugiang@gmail.com）にも cc を送ること。

応募者には面接を実施のうえ、合否を通知します。面接は2018年12月10日に行います（時間については後日神田真紀子先生から通知します）。

応募にあたってわからないことがあるときは、神田真紀子先生あて電子メールで問い合わせてください。

以上